



第2回学校運営委員会

10月6日（月）に第五中学校コミュニティスクール第2回学校運営委員会が行われ、午後の授業を参観していただきました。今回も、生徒会役員との懇談会を行いました。

生徒会三役の3人が代表で参加し、鳳祭直後ということもあり、それぞれ、鳳祭の感想を語ってくれました。



- ・新しい五中での鳳祭、縦割りで交流など、一人ひとりが主体的な活動ができて、やり切った。
- ・役員と全校のみんなに楽しんでもらうために、休日も先生と共に頑張ってきた。よろこんでもらえてよかった。
- ・全校一人ひとりの意見を尊重することができた。
- ・あいさつ活動 生徒会役員中心に呼びかけていきたい。

その後、運営委員のみなさんから、お一人お一人感想やアドバイスなどをいただき、意見交換をしました。一部を紹介します。

☆鳳祭について

- 開祭式の動画クオリティーがアップしていて、楽しめた。
- 社会科の都道府県新聞を見させてもらったがとても勉強になる。修学旅行新聞は、良い思い出がくれた感じがわかりよかった。
- 学年発表3年 自分の意見もついていたよと思った。
- 役員の演技よかった。
- 小学校での交流から、今でも声をかけてくれる生徒もいてうれしい。成長うれしい。
- 合唱楽しめた。学年が上がるとレベルが上がってよかった。男子の声が出ていて楽しみ。大地讃頌とってもよかった。
- 笑顔が見れてよかった・・・苦労もあったと聞いたが、役員全員、これからの生き方により影響になると思う。
- 新たな伝統を積み重ねていってください。

☆地域と学校を繋ぐためにできることの提案もいただきました。

- 市民の森まつり 吹奏楽部出演してくれる。オリンピック種目になった、オブスタクルスポーツを体験できる。役員の皆さんにも参加してほしい。
- 公民館では、プロを呼んで、オカリナのコンサートを無料で開催した。保護者や中学生にも来てほしい。
- 公民館の事業、ボランティアに参加してくれた。地域との連携になるのでこれからも参加を。公民館でも音楽イベントがある。音楽団体もたくさんあり部活の地域展開につなげたい。募集の声がけをしていきたい。
- イベントにPTAも協力できたらと思っている。

★課題

- 挨拶、自主的にしてくれる人が少ない。掃除の後すれ違ってもあいさつしてくれなかった。職員も素通りする人もいた。



委員の皆様からいただいた感想の一部を紹介します。

◆鳳祭や授業参観での五中生・教職員の姿から感じておられること等

- ・授業内容に興味をもち、積極的に取り組んでいる姿に感動しました。
- ・3年生は、少し受験をひかえているせいか、疲れがみえる生徒がいるかなと感じました。
- ・無言清掃に取り組む姿、こまかな所まで手が行き届いている。新しい学校をキレイにしようと皆が意識しているのがかいまみれました。
- ・吹奏樂しか聴けませんでした、三年生の最後ということでした。楽しく聴くことができました。伝統という言葉が言われますが、1～2年生が吹奏樂部の楽しく演奏すること、五中らしい音楽を引き継いでもらいたい。
- ・新しい校舎で、教室に余裕があって、生徒がのびのび授業を受けていて、本当に良かったと思います。教室に入る際も音がしないので、迷惑になりませんでした。
- ・全クラス確認したわけではありませんが、欠席者が多いように感じました。
- ・ソフトボールに関わるものとして、体育の授業でソフトボールを男女ともプレーをしているのを見て、ぜひ、クラブ化を検討してほしいと思います。
- ・小学校で、周囲となじめず、相談室に通室していた生徒が、クラスにとけ込み元気に授業を受けていて感激しました。
- ・「おたすけっと、まだやっている？」と質問されました。「遊びにおいで」と答えました。嬉しい質問でした。
- ・無言清掃は、徹底されていて気持ちが良いです。
- ・タブレットは、更新時期を迎えましたが、それぞれの状態はどうでしょうか？
- ・校則は、生徒会で決められないと生徒会副会長が話しておられましたが、今の時代、生徒に決めさせてもいいのではないのでしょうか。
- ・鳳祭は、一部のみ見させていただいたが、皆頑張っていて良かったと思いました。
- ・最近、生徒の挨拶があまり良くできていないのが気になります。
- ・合唱コンクール 学年が進むにつれ、レベルもはっきり上がっているのがわかり、中学の1年間はすごいなと思いました。全体に男子の声が出ていていいなと感じました。3年生の大地讃頌は特にすばらしく、いまでもその歌声を思い出します。
- ・中間テスト前ということで、テスト対策のクラスが多く、緊張した様子で取り組んでいました。そんな中で3年生の体育は外で楽しそうにソフトボールをやっていて、こちらも穏やかな気持ちになりました。美術の作品も皆よくできていました。
- ・清掃 先生方も一緒にやっていて良かったです。
- ・鳳祭、初日の午後見学させていただきました。正面玄関入って正面の文化祭に向けての全クラス全員の目標一言とても良かったです。一人一人の大事にしているものが見えてきました。(全員が書いたのが良かったです)
- ・展示の作品もそれぞれ見事でした。修学旅行を題材にした新聞も、笑顔の写真に溢れており、コロナ禍を送った生徒さんたちにとって、とても良い思い出になったと思います。
- ・授業参観 テスト前ということもあり、自習のクラスが多かったですが、授業をやっておられたクラスでは、それぞれ集中して生徒さんたち受けている姿が見えまして良かったです。



◆学校と地域との連携

- ・自治会の行事などの参加
- ・地域の団体や公民館事業のポスターやチラシを掲示していただけないか。
- ・下校時に見守り活動をしています。たまには先生方が車で確認して回るだけでなく、下車して情報交換をお願いできたらと思います。

- ・ 神科・豊殿まちづくり委員会や自治会連合会との情報交換会を提案していこうと考えています。
- ・ ボランティア活動ではなく、地域のお祭りに運営側として楽しく参加してもらうところから始めていただけたらと思います。
- ・ 保護司主催の「社会を明るくする運動」で各学校に作文を依頼しているが、五中からは1人も提出していただけていないので、次年度は協力をお願いしたい。
- ・ 以前のように、地域での会合（PTA）もなくなり、地域の方々との接触がないのが寂しく感じます。クラブ等の講師の依頼などしか思いつきません。

委員の皆様からいただいた貴重なご意見、感想を
「新しい五中」づくりにどう生かしていったらよいか、
五中と地域をどのように「繋ぐ」のか、生徒のみなさんと
教職員とで一緒に考えていきます。



参観日週間 授業参観の感想より

- テスト返しを見させていただきました。点数に一喜一憂する子どもたちが、ほほえましかったです。先生にビシッと言っていたので、「よしよし」と思いました。鳳祭を経て、仲間どうしもほぐれてきているような空気も感じ、いいな～と思いました。今後もよろしくお願いします。今日はありがとうございました。
- みんな職場体験おつかれさまでした。中学校生活、あと1年と半年くらいですが、今回の体験を胸に精一杯楽しんで未来につなげてください。
- 国語の授業を参観させて頂きました。みんな静かにノートを取りながら授業を受けており、1年生の頃あんなにおしゃべりしていたのに、と驚きました。授業もわかりやすく向田邦子さんのお話は、私も習ったことがあり、聞き入ってしまいました。ありがとうございました。

10月の参観日週間ではありましたが、テストのことや1学期に行われた2年生の職場体験学習、鳳祭などでの成長の姿を感じ取っていただいた感想です。

特に、鳳祭という生涯忘れない行事の中での学びは、自信にもなります。自信は、「やればきっとできる」という力につながります。また、このような心の力は、日々の学習や生活におけるさまざまな活動の中でも目標を達成した時に培われる力で、その経験が自信につながります。無論、努力が報われないこともあります。それでは、どうすればよいか・・・

子どもが「あきらめないで努力する」ためには、何より「好き」にさせることであり、次のような流れをつくるのが大切だと考えます。

「好き→取り組む→できる→ほめる→さらに取り組む（続ける）→

もっとできる→もっとほめる→ますます好きになる」

私たち大人、教師、保護者の皆様、地域等の方々がそれぞれの役割のなかで、このような良い流れに導き、循環させてあげることが大切な役割になるのではないのでしょうか。

3年生実施の全国学力・学習状況調査について

【家庭でお願いしたいこと】

3年生生徒のご家庭には、学力調査結果の個人票を、前期の通知表と一緒にお渡しします。次頁の結果の分析と合わせてご覧いただき、家庭学習の参考としていただきますようお願いいたします。

上田市全体の結果が公表されています。以下よりご覧ください。

<https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/gakukyo/103223.html>

令和7年度 全国学力・学習状況調査（3年生）の結果について

今年度の全国学力・学習状況調査の本校の結果と今後の指導についてお知らせします。

（１）各教科の調査結果

内 容	結 果
国語	<p>全国及び長野県の正答率を上回る結果でした。また、学習指導要領の内容に照らし合わせた区分から見ても、すべての項目で上回っている結果でした。</p> <p>領域別では、「読むこと」の上回りが顕著であり、読解力の向上が感じられる結果となりました。</p> <p>また、同等の幅で「話すこと・聞くこと」も上回っており、定期的に聞き取りの練習をしたり、同じような形式の問題に触れたりしていることが、結果につながっていると考えられます。上回ってはいるものの、その幅が小さいのは「書くこと」の領域になります。問題内容を細かく見ると、記述形式で答える問題の正答率が低く、無解答の割合も高くなっています。共通しているのは「～をふまえて《自分の考え》を書く」ということです。内容を読み取り、答えるべき内容もわかっているが、「自分の考え」を条件つけられると、そこに抵抗感を感じてしまっていると考えられます。</p> <p>漢字の問題（間違いを修正する）も、正答率がやや低い結果でした。同音異義語や同訓異字、類義語の観点から広げて語彙を身につけていく力を養うことが課題です。</p>
数学	<p>全国及び長野県の正答率をわずかに下回る結果でした。正答数分布でみると、上位者が少なく正答数の低い生徒がやや多い分布になっています。</p> <p>特に正答率が低かった問題は、「素数の意味を理解しているかどうかをみる」「多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる」。</p> <p>全国正答率を上回った問題は、「相対度数の意味を理解しているかどうかをみる」「事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる」「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる」でした。</p>
理科	<p>全国及び長野県の正答率とほぼ同じ結果でした。また、問題の難易度ごとの正答率でみると、難易度の高い問題の正答率が低い分布になっています。</p> <p>正答率が全国平均を上回った問題は「疑問を解決するための課題を設定できるかどうか」「生命のはたらきに関する知識が身につけているかどうか」です。授業で問題解決学習を行っていること、正しい知識を身に付けることができていること、が分かりました。</p> <p>正答率が全国平均を下回ったのは「生物が消化で行う分解と化学変化を結び付けることができるか」と「地層を構成する粒の大きさと水が染み出るすき間を分析して解決できるか」でした。どちらも他分野の知識との関わりを考える問題でした。たくさんの知識を他の事柄と関連づけることが重要です。</p>

（２）調査結果をふまえ、これからの指導に生かすために

本校の生徒は、分かるようになりたいという意欲があり、与えられた課題にまじめに取り組むことができます。しかし、身につけた知識や技能を、場面や目的に応じて活用したり、自ら課題を見い出し、考えを深めながら追究したりする姿勢がやや弱い現状があります。

国語科では、漢字練習や文法の復習など言葉に関わる学習を通して、引き続き使える語彙を増やしていきます。また、記述の仕方を身につける活動や、作文指導を進めていきます。その際、明確な目的や課題を意識したものにしていきます。論説文教材などを通して、要約する活動や筆者の主張に対する自分の考えをもつ活動を、多く取り入れていきます。

数学科では、昨年度のNRTの結果では、「関数」領域が全国正答率より低かったのですが、今回は、4領域の中で唯一、全国平均正答率より高い結果が得られました。昨年度の反省を生かし、日頃の授業を丁寧に積み重ねられた結果も一因にあると感じます。一方で「数と式」領域が、全国平均正答率を大きく下回る結果となってしまったので、今後の学習の中で補充していく必要があります。また、無回答率の割合が低く、粘り強く自分の考えを書こうとする生徒が多かった。今後も授業中に諦めずに取り組む姿勢を大切にしながら指導していきます。

理科では、いままで以上に問題演習の時間も確保しながら、これまで通りに問題解決学習を中心に授業を行っていくことが大切だと考えます。その中で、単元のまとめの場面や毎時間の振り返りの場面で、生徒自身の考えで、理科での学習と日常生活や他分野での学びを結びつけられるようにしていく発問や声掛けを行っていきます。

また、今年度は「探究的な学び」を全校授業研究の大きなテーマに掲げ、すべての教科で生徒たちが自ら課題を見出し、考えを深めながら学力を確実に高めていけるような授業を目指していきます。